

令和2年5月1日

跡見学園女子大学教職員各位

跡見学園女子大学

学長 笠原 清志

インターネットを利用した授業の開始当初についての考え方

本学では5月11日から開講科目の全てにおいてインターネットを利用した授業を実施します。このことは、本学の学生、教職員に限らず、大多数の大学関係者にとっても初の試みとなります。

なかでも、学生にとって、とくに新入生においては、慣れない学習環境での受講は、様々な負担が伴うものと思われます。とくにスマートフォンで受講する場合は、画面が小さく資料の閲覧も容易ではありません。あるいはPCであっても、動画やテレビ会議の画面には過度の集中を強いられる可能性があります。課題提出の方法についても、経験が乏しく、正しく提出できたかを不安に感じるなど、その行為自体が心的な負担ともなりえます。

一方、教員にとっても、従来にない事態であり、授業の設計や教材開発など、準備にも相当の時間が必要です。また、情報機器の動作は必ずしも安定的とは言えないなかで、想定外の事態にも臨機に対応することが求められます。サポートにあたる情報メディアセンターも、学外への支援には限界があります。

さらには、国内の教育機関におけるオンライン授業や企業のテレワーク化の急速な普及によって、情報環境、とりわけネットワーク回線の帯域が十分に確保できるか、あるいは各種サービスのサーバーへの負荷による動作不良なども懸念されます。

そこで、授業開始当初の数週間を、「ならし期間」と定めることとします。ただし、ここで示す内容は、必ずしも教育の手段を縛るものとはせず、教員ならびに学生間において、授業の円滑な運営が可能と思われる場合においては個々の教員の判断を優先するものとします。

記

- 授業開始から3週間～4週間までは、授業の「ならし期間」とします。
- 「ならし期間」においては、本学で別に定めた三種類のオンライン授業の運営方法のいずれにおいても、インターネットを利用した授業に不慣れな学生の受講に配慮して、授業の内容を調整し、課題も可能な範囲で負担の少ないものにします。
- 「本学のポータル機能を利用した授業」の場合は、Word や PowerPoint 等による資料に盛り込む内容について配慮します。
- 「会議ソフトを利用した授業」の場合は、双方向通信の時間は、最長でも通常授業の時間の半分程度とします。
- 「動画等の配信を行う授業」の場合は、10 分から 15 分程度に分割した動画の合計が、最長でも 45 分程度とします。

以上